

調査結果記入表__Sep 2017 ベトナム

調査者氏名 秋田 茂

調査事項	世界史授業、ハノイ国家大学歴史学部 (Viếtnam Nátionál Univérsity, Hánôi, Còllégé ôf Sòciál Sciéncés ánd Humánitiés, Fáculty ôf Històry) Sěptěmběr 21, 2017, môrning (第一・二時限) で調査、授業。
カリキュラム	世界史の通史授業の一つで、第一次世界大戦後のヴェルサイユ=ワシントン体制を考察する。
科目内容面での自国史と広域史や世界史の関係およびそれらの困難点	第一次大戦後の国際秩序の特徴を、ヨーロッパ、アメリカ合衆国、日本の状況を含めて概説的に講義する。広域の説明がなされるが、依然として西洋中心史観の影響が色濃く反映されていた。 アジアのナショナリズムの勃興にはあまり言及がなかった。
ディプロマ・ポリシーや教員養成との関係	不明。
英語化や多言語化を含む教授方法の脱一国主義化	教師による講義形式で説明が中心の授業。特に、発問や問いかけはない。 自国語（ベトナム語）での説明、授業。
補助者の配置	受講生は 50 人近かったが、特になし。
若手育成や教員FD	必ずしも教員の専門でないテーマ・時代を、分担して担当する形式の授業で、教員には専門性・専門的知識よりも、「一般教養」的な通史を、いかにわかりやすく、説得的に語るかが求められていた。
授業研究・評価のやり方	学生からの質問等は、特になかった。 一方的な講義形式で、比較的長い授業であったため、「これで終わり？」という、意外な印象を受けた。

<p>(更なる事項がある場合は、ご自由に追加してください)</p>	<p>授業の後半に、秋田と岩井が「講演」形式の講義を行った。秋田は、当初、阪大での歴史教育の「改革」を話す予定であったが、授業の受講生の学年と関心を踏まえ、彼らは形式的な制度論よりも、実質的な歴史解釈・「歴史の見直し」の方に興味を持つであろうと判断して、授業テーマを急遽変更した。</p> <p>このテーマ変更の理由の一つとして、長時間聞かされた「戦間期・1920年代—30年代論」が、あまりに概説的で、西洋中心的な概説であったため、日本での共同研究を踏まえた「アジアから見た1930年代論」を語ることにした。具体的には、15年くらい前から京大の籠谷直人氏と編集してきた「1930年代のアジア国際秩序」論を講義した。</p> <p>講義では、(1)ブロック経済体制の限界と自由貿易主義の存続、(2)日本が展開した経済外交の「成功」とアジアの経済ナショナリズムとの整合性、(3)イギリス金融利害とアジア工業化との相互補完性、について具体例を交えて語った。特に、アジアにおける地域間貿易（アジア間貿易論）の形成・発展の重要性、世界史における独自性を強調した。</p> <p>以上の秋田の講義は、戦間期、特に1930年代の通史的理解を大きく修正する解釈であるため、学生はかなり熱心に聞いてくれたように思う。授業終わりの「質問」も、経済外交論見直しの有効性や、ビルマ（ミャンマー）の位置づけなど、通史解釈を超える専門的なものであり、受講学生のレベルの高さを痛感した。</p>
-----------------------------------	---

調査結果記入表__Sep 2017 ベトナム

調査者氏名 岩井淳

調査事項	世界史授業、ハノイ国家大学歴史学部 (Vietnam National University, Hanoi, College of Social Sciences and Humanities, Faculty of History) September 21, 2017 に調査
カリキュラム	ハノイ国家大学歴史学部の世界史関係のカリキュラムに位置づけられている。
科目内容面での自国史と広域史や世界史の関係およびそれらの困難点	内容的には、ヨーロッパの帝国主義から第一次世界大戦にいたる世界史の授業だった。日本の西洋史概説のような感じだった。
ディプロマ・ポリシーや教員養成との関係	教員志望の学生も、存在していた。
英語化や多言語化を含む教授方法の脱一国主義化	授業はベトナム語でなされたが、パワーポイントを用いており、図やグラフがあって日本人にも分かりやすかった。英語は、とくに使われていなかった。
補助者の配置	補助者は配置されていなかった。
若手育成や教員FD	
授業研究・評価のやり方	教員による授業が中心で、学生への質問はなかった。学生は、とても熱心に聞いていた。
(更なる事項がある場合は、ご自由に追加してください)	

調査結果記入表__Sep 2017 ベトナム

調査者氏名 後藤敦史

調査事項	
カリキュラム	ハノイ国家大学歴史学部の世界史に関する講義を聴講 (2017年9月21日)
科目内容面での自国史と 広域史や世界史の関係お よびそれらの困難点	第一次世界大戦前後の歴史的過程について、ヨーロッパの動 向を中心にまとめていた。
ディプロマ・ポリシーや教 員養成との関係	
英語化や多言語化を含む 教授方法の脱一国主義化	授業はベトナム語により実施。PPTにより図や写真を見せ ながらの講義スタイル。各国間の関係性を重視した構造。
補助者の配置	配置なし
若手育成や教員FD	
授業研究・評価のやり方	
(更なる事項がある場合 は、ご自由に追加してくだ さい)	<p>2017年9月19日にハノイ国家大学の日本学科 Department of Japanese Studies, Faculty of Oriental Studies, University of Social Sciences and Humanities, VNU Hanoiにおいて、 日本史に関するミニ講義を後藤が実施した。質疑応答や、感想 用紙での記入を通じて、学生たちの反応などを調査することが できた。日本の歴史に関して、同学科の教員による日頃の授業 などを通じて、基本的事項をおさえている学生が多い印象であ った。ミニ講義後に日本学科の教員と懇談。歴史学部ではなく とも、歴史学を専攻としている教員により、歴史に関する理解 を深められるような工夫がなされている様子であった。</p> <p>なお、このミニ講義には、京都大学からハノイ国家大学に 短期交換留学に来ている日本の学生も参加した。日本からの学 生も参加していたことで、講義の感想について、日本の学生と ハノイ国家大学の学生の違いを比較することができた。</p> <p>ミニ講義では、1853年のペリー来航を中心に、日本の歴史</p>

の「語られ方」に関わる講義をおこなったが、日本の学生には、既知の歴史的事実が多かったこともあり、「語られ方」という本講義の主旨について十分に伝わっていない学生も見受けられた。一方、ハノイ国家大学の学生は、歴史の語られ方について理解を深めたという感想を書く学生がいる一方で、歴史的事実の確認に精一杯という学生もいるようであった。

調査結果記入表__Sep 2017 ベトナム

調査者氏名 岡田雅志

調査事項	ハノイ国家大学歴史学部教員との意見交換（9月20日午前：歴史学部全体／午後：世界史部門）
カリキュラム	ハノイ国家大学歴史学部の中にベトナム古中代史（前近代）／ベトナム近現代史／考古学／ベトナム共産党史／世界史／史学史・史料学／文化学・ベトナム歴史文化／都市史の8部門があり、修士課程、博士課程にもほぼ対応した部門がある。人気があるのは就職に有利な文化学・ベトナム歴史文化と共産党史。4年生前期から各部門に分かれる。学部は1学年平均80人程度、標準コース（平均60人以上）と高度コース（平均10人以上）がある。（モジュール別単位数は桃木教授作成の資料Dに表有り。また科目名を含めた詳細は歴史学部HP（ベトナム語）で確認できる： http://khoalichsu.ussu.vnu.edu.vn/cng-mon-hc/ ）
科目内容面での自国史と広域史や世界史の関係およびそれらの困難点	従来は世界史＝外国史（特に欧米，ソ連）であったが、現在ではベトナム史の世界史への位置づけに重点が置かれるようになり、世界史関連科目もアジア史を重視したものになっている（東南アジア・東北アジア各国の経済・社会の発展（共通見識群科目）、ASEANとベトナム・ASEAN関係（専門科目群科目）など）。地域学と国際交流を結合させることを企図しており、関係史、比較史を重視した教育方針はグローバルヒストリーに近いものがある。最大の課題はやはり外国語レベルの向上にあるとのことであった。その他、歴史学部授業科目一覧を見ると、世界史関連は、政治・経済・国際関係領域への偏重が見られ、思想史を除けば文化領域はベトナムのものに限られている点が問題に感じられた。ベトナムにおいて歴史学部は日本以上に社会的要請あるいは政策的課題に応えることが求められており、社会科学側面が強いということも一つの背景としてあると思われる。
ディプロマ・ポリシーや教員養成との関係	教員養成は国家大学教育大学の管轄であるが歴史学部で教員養成コースのカリキュラムを一部担当している。歴史学部
	の学生も教職科目履修により免許を取得すれば中高教員になることができる。

英語化や多言語化を含む教授方法の脱一国主義化	一部の回を英語で教授する授業がある。英語以外の外国語は必修ではないが学外を含め以前に比べると学習環境が整ってきている。
補助者の配置	
若手育成や教員FD	海外の大学で学位を取った人材（歴史学部出身者）を多く採用している。
授業研究・評価のやり方	
（更なる事項がある場合は、ご自由に追加してください）	

